

運賃表示器

液晶表示に一新。4カ国語（日・英・中・韓）で表示します。



路線図

J R 東日本秋田支社管内の当時の路線図がそのまま残ります。



車内

車体長は 20.8m と現行より約 3m 長い。機関予熱器も装備されており、客室の温まりも早い。



車体塗色

五能線カラーで、秋田クリームと紺碧の日本海を思わせる秋田ブルーをまといます。

まずは  
外観

寒地ならではの外装と青・白のカラーリング。残された銘板もレアで見どころです。



キハの全てを皆さんにお伝えします!!



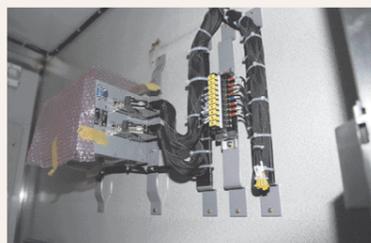
おどろきの  
車内

広い車内で快適走行。路線図もそのままなので、東北気分を味わえます (^\_^)/



運転席

速度計やブレーキ圧力計、車両状態をパイロットランプに表示。自動空気ブレーキで、ハンドルを「運転・保ち・抜き取り・重なり・常用ブレーキ・非常ブレーキ」の6つの位置で扱うため技術が必要。



運転状況記録装置

事故発生前後の速度や時刻、ブレーキ状態、燃料指令他を記録する装置。旧トイレ内に設置してあります。

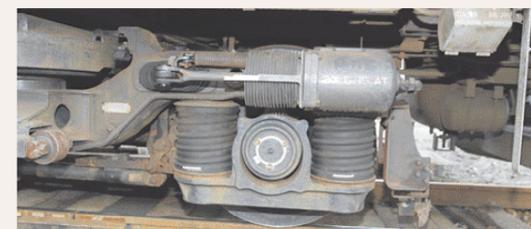


レベリングヒーター

空気ばねの高さを一定に保つため、自動高さ調整弁がこの中に入っている。外気温が低下すれば圧縮空気中の水分が凍り、弁が固着しばねが効かなくなるので、箱で覆いヒーターで加熱してそれを防止しています。

銘板

5枚あり、上段が所有者を示す北条鉄道、2段目が前所有者のJR東日本、3段目が製作時の新潟鉄工所、4、5段目が改良時の土崎工場と履歴を表します。



台車

寒地形の台車で、コイルの軸ばねはゴムで覆い、また暖地形では枕ばねもコイルばねであるところを空気ばねとし、雪が詰まればねが効かなくなることを防止している。そのために乗り心地は一般的なキハ40を超える乗り心地です。



噴霧コート

新型コロナウイルス感染症対策。抗ウイルス剤を車内全体に噴霧し消毒しています。

しゃじょうし  
車上子の結線作業

列車の運行を制御（自動的に減速、停止等）するため、車両下部に設置された装置。線路内に設置された地上子と情報の送受信を行います。



スノープロウ

前面下部のスカートの下に装着され、軌道に積もった雪を左右に押し除けます。

坂江運転士の

キハ40形535

徹底ガイド

3月13日（日）にキハ40形535がデビューします。ひと足早く、北条鉄道にキハを呼んだ男、運転士の坂江さんに分かりやすく紹介してもらいました。

♪ 同じ乗るなら  
♪ 知らなきゃ損々



ワンマン改造されており  
空気ばね台車を採用

一昨年9月に、法華口駅にて行き違い交差設備が完成したことで、列車を増発。保有しているフラワ2000形3両だけでは、トラブル発生時に車両が不足することから、車両を増やすことになりました。導入条件は色々ありましたが、中でも、維持費を抑えるため、検査期限が8年の全般検査期限（エンジン、台車、車輪など車両の主要部分を取り外して総合的に調べる最も大がかりな検査）が残っていること、そして、ワンマンで、燃費を良くし効率よく運転するために、エンジンが直噴化に改造済みであることでした。

一般的なのに、空気ばね台車を採用したのは、寒冷地帯では金属ばねに雪が入り込んで、乗り心地を低下するのを防ぐ仕様になっているのに目を付け、条件に入れました。特急列車並みの乗り心地だそうです。

北条鉄道仕様に改造

全国の鉄道車両の中には、当初の役割を終え、譲渡後、見違えるほど変身したのもたくさんあります。北条鉄道は多くはそのまま残し、一部北条鉄道に適した仕様に変更しました。

まずは、自動列車停止装置を東日本のATS-PSからATS-SW形に換装し、ATS車上子の配置を当線区に適合した位置に設置しました。

次にトイレです。キハ40形535は、元々トイレが付いていますが、北条鉄道は汚水処理施設がないので、床下便所汚物タンクの撤去、便所と水回りの使用を停止しました。そして、通常は荷棚に設置してある運転状況記録装置を使用しないトイレ内に設置しています。これは珍しいです。

他には、運賃表示器の液晶パネル化と自動放送の四カ国語化、駅ホームにカメラが設置されていないため、車外バックミラーの新設（JR西日本の車両には付いていません）、室内灯のLED化などです。